

安倍首相「読売新聞を熟読して」

写真上は朝日新聞 5 月 10 日朝刊、標題ぴったりの山田紳さんの風刺漫画。9 日夕刊「素粒子」にも — 党総裁としての考えは読売新聞を熟読せよ。特定の新聞を広報紙とする首相。世論を分断してでも改憲を目指す。

安倍晋三首相の独善的なご都合主義は、このところ目に余るものがある。

8 日の衆院予算委員会で、憲法改正の見解を聞かれて「読売新聞を熟読して」などと述べて具体的な答弁を避けようとした問題で、民進党の蓮舫代表が 9 日の参院予算委で「国民の代表機関である国会で説明する責任を放棄している」と述べ、発言の撤回を求めた。首相は「今、この場で自民党総裁として一政党の考えを披瀝すべきではない」などと答え、撤回には応じなかった。(10 日朝刊)

こんな首相答弁に、驚きと怒りを禁じえなかった。国会や国民をなめている。これも安倍一強なるものの驕りなのだろうか。とにかく腹が立ち、フェイスブックに投稿した。

「安倍夫妻、夫は総理と総裁を使い分け、妻は公人と私人を使い分け」

森友疑惑の状況証拠なるものが次々出てくるなかで、相変わらず「きちんと説明している」とうそぶく安倍首相。それを庇うかのように振舞うマスコミ。「忖度」なる言葉が注目されるが、ワイドショーに象徴されるテレビ、NHK ニュースなどは、まともに疑惑を報道しない。新聞も読売・産経がとにかく酷い。

安倍首相が「読売新聞を熟読して」と言ったのは、写真にある 5 月 3 日の憲法記念日特集である。

6 日レポートしたが、読売新聞は 4 月 26 日に首相官邸で、安倍首相に約 40 分インタビューした。それを 3 日の 1 面等で大きく報じた。安倍首相の 3 日「憲法改正ビデオメッセージ」と同じ内容だ。

首相官邸で行った読売インタビュー。国会答弁で、その読売記事を「熟読して」と。さすがに委員長も注意したようだが、これはどう考えてもオカシイ。それを問題視すらない読売新聞。安倍政権とますます連携を深めつつある読売なので、こんなことも当然と考えているのだろうか。権力を監視し、チェックするメディアとして失格だ。

読売新聞は日本、いや世界で最大部数を誇る新聞である。そんな読売と「公共放送」を名乗る NHK が、安倍政権の支持率「高止まり」を支えているのではなかろうか。

(2017 年 5 月 13 日)

